※令和４年度以降入学生用

学校番号	１２０４

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	MOUSA１（教育芸術社）						
副教材等	かいておぼえる音楽ドリル(1)　（ケイ・エム・ピー）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌唱」「器楽（クラシックギターとキーボード）」の基礎を中心に学習します。
・「歌唱」では独唱を中心に様々な曲に取り組みながら、発声と表現を学習します。「器楽」では、基本的な奏法を身に付けるとともに、読譜の学習も行います。また教材に関連した鑑賞を取り入れます。
・学習の到達度は、授業中の取り組みの様子や授業で配布するワークシート・実技テスト等で評価します。
・歌唱や楽器の演奏に興味を持ち理解を深めることにより、長く音楽を愛好していく心情を持てるようになることを願っています。

２　学習の到達目標

観点	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
到達目標	音楽を愛好し、音や音楽を知覚・感受し、歌唱・器楽・創作で表す技能を身に付けている。	音楽性を高め、音楽の素晴らしさや美しさを感じ取り、創造的な表現活動を工夫することができる。	多様な音楽に対する理解を主体的に深めることができる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。曲想と楽器の音色や奏法との関りについて理解している。(知識) ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。（技能）	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように表すかについて表現意図をもち、創意工夫していたり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱や器楽・鑑賞の学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	合唱	校歌 ソルフェージュ	a:曲にふさわしい奏法や身体の使い方などに留意して演奏し、表現に必要な技能を身に付けている。 a:演奏したり互いに聴き合ったりしながら、曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解している。 b:イメージをもって、音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら表現を工夫しようとしている。	観察 演奏の聴取 実技テスト	観察 演奏の聴取	
	器楽	あつまれどうぶつの森メインテーマ(キーボード・マリンバ・グロッケン・スネアドラム等) ふるさと(ギター) ソルフェージュ(リズム打ち)	a:一人一人が主体性を発揮しながら，他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けている。 a:各パートの役割を理解するとともに，全体の響きやハーモニーをイメージしながら演奏する技能を身に付けている。 c:課題曲についてより良い演奏ができるように、主体的・協働的に表現活動に取り組もうとしている。	観察 演奏の聴取 実技テスト		観察 演奏の聴取
	鑑賞	ミュージカル映画“グレイテスト・ショーマン”	b:音楽を形作っている要素を知覚し、知覚したことと感受したことの関りについて考え、音楽を評価しながら良さや美しさを自ら味わって聴き、仲間と意見交換ができる。		ワークシート	

※令和４年度以降入学生用

後期	合唱	オー・ソレ・ミオ 水平線	a:曲にふさわしい奏法や身体の使い方などに留意して演奏し、表現に必要な技能を身に付けている。 a:曲想と音楽の構造や歌詞、文化的背景との関わりを理解している。 b:イメージをもって、音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら表現を工夫しようとしている。	観察 演奏の聴取 実技テスト	観察 演奏の聴取	
	器楽	海の声(カリンバ) 第三の男のテーマ(ギター) あわてんぼうのサンタクロース、虹の彼方に(ミュージックベル・トーンチャイム) さくらさくら(箏)	a:一人一人が主体性を発揮しながら，他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けている。 a:曲想と楽器の音色や奏法との関りについて理解している。 c:課題曲についてより良い演奏ができるように、主体的・協働的に表現活動に取り組もうとしている。	観察 演奏の聴取 実技テスト		観察 演奏の聴取
	鑑賞	世界の諸民族の音楽	b:音楽を形作っている要素を知覚し、知覚したことと感受したことの関りについて考え、音楽を評価しながら良さや美しさを自ら味わって聴くことができる。意見を述べたり記述したり、仲間と意見交換することができる。		ワークシート	
	創作	ミュージックシーケンサー“Song Maker”で作曲	a:創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。 b:音楽を構成する要素を知覚し、自己のイメージを持って創作表現を創意工夫している。 c:より良い作品ができるように、主体的に創作活動に取り組もうとしている。	観察 演奏の聴取	観察 演奏の聴取	観察 演奏の聴取

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度